

中小企業研究

担当者 前田 啓一

開講時期 後期 単 位 2

●講義の概要

理論、歴史、経営、地域、国際比較、国際分業などの多様な観点から中小企業や中小企業政策がいかなる状態にあるのかを検討する。また、1980年代の円高以降、アジア各国の外資導入自由化政策により日本の中小企業・同政策の発展がアジア各国・各地域の経済発展にいかなる影響を与えているのかも考察する。なお、具体的には、履修者と相談のうえ講義を進めていきたい。

●講義の到達目標

日本の中小企業ならびに中小企業政策について基礎的な知識を得ることができるようにする。履修者の関心とも関連づけて、中小企業や中小企業政策が各国国民経済の発展に及ぼす影響について調査研究できるよう総合的な分析力の獲得を目指す。

●講義計画

- 第1回：問題意識
- 第2回：旧中小企業基本法と中小企業像
- 第3回：新中小企業基本法と中小企業認識の変化
- 第4回：世界経済の構造変化と中小企業
- 第5回：大都市圏工業集積の変貌
- 第6回：東アジアのグローバル化と日本の中小企業
- 第7回：地場産業の新たなネットワーク形成
- 第8回：戦後復興期の中小企業政策
- 第9回：高度成長期の中小企業政策
- 第10回：低成長下の中小企業政策
- 第11回：競争政策型中小企業政策への移行
- 第12回：中国の中小企業・中小企業政策
- 第13回：ASEANの中小企業・中小企業政策
- 第14回：ベトナムの中小企業・中小企業政策
- 第15回：最近の創業・新規事業支援策

●成績評価基準と方法

学生が日本における中小企業問題の歴史と現状把握を踏まえたうえで、東南アジア諸国での中小企業問題を検討できるようにする。

授業での報告と討議への参加、そして随時求める小レポートの提出（50%）、学年末でのレポート（50%）による総合的な評価とする。

●テキスト又は参考文献

—参考文献—

- ・高田亮爾・前田啓一・池田 潔編著『中小企業研究序説』同友館 2019年
- ・前田啓一・塩地 洋・上田曜子編著『ASEANにおける日系企業のダイナミクス』晃洋書房、2020年 など。

●受講上の留意点

授業中での討議に積極的に参加すること。